

## インターバンクの声（2014年11月21日）

昨日の東京市場午後4時、火曜日のニューヨーク市場以降ずっと円売りが続いていたドル円相場が、物凄い勢いで119円まであと2銭のレベルに達してしまっただ。普段は比較的静かなこの取引時間帯、と言いたところだが、どうして最近時は時として得体の知れないところからの仕掛けが入り易い時間帯になっているようだ。以前は東京市場にしても海外市場にしても、仲値（フィクシング）やオプションの行使期限時間など、取引が煩雑になる時間帯を狙って投機的取引が持ち込まれ易い傾向にあったが、どうも最近市場の取引が薄くなっている隙間の時間帯を突いてくる動きがあるようだ。その上、昨日のようにドル高への相場観を保ちながらも、どう見ても利食いの機会を探る人たちが数多くいるような微妙なバランスになっている局面を狙って来ているとあって、相場を動かすには効果靚面だった。一日二日で2円3円（ユーロや豪ドルは200、300ポイント）簡単に動く相場にあっては、昨日の夕方のような相場展開がこれからも頻繁に起こるのを想定しておくべきだろう。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。